

音更の
住民ら

護岸工事に懸命

鹿追では農家総出 冠水の逆流を防ぐ



●「流れを変えよう」と、懸命

音更では然別川にかかる四本の橋全部で橋脚が落ちたり、取り付け道路が決壊、一時は万年地区などの交通が途絶えた。その後、七日夜になって豊年橋が復旧したが、残り三本の橋は九日も不通の

ままで、町面へ行く観光客でいる。この付け道路が約一キロがアメ盤を流れ、ガルがアメのように曲がってしまった。河川

いくつにもわづかれた流

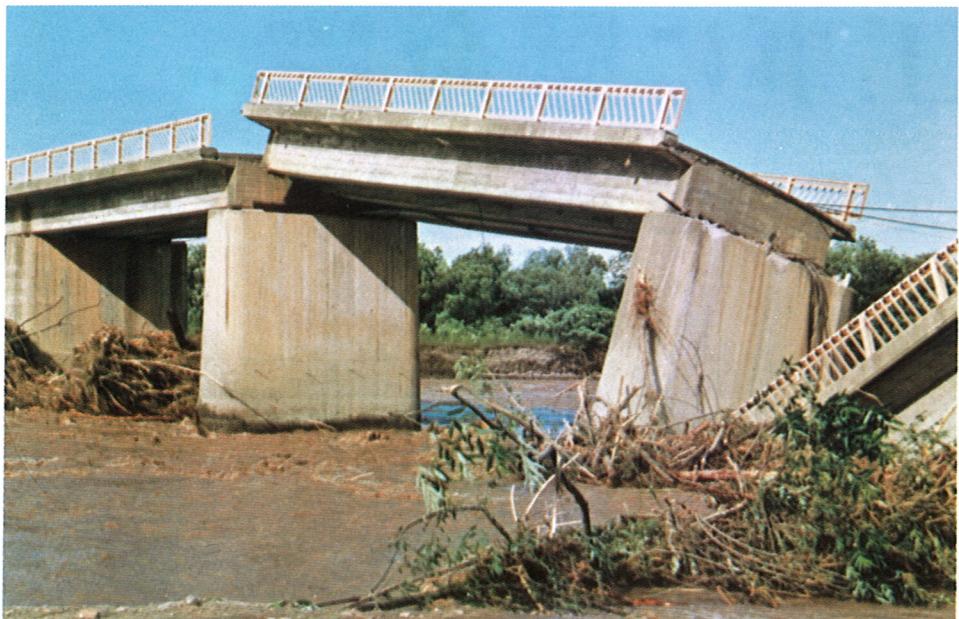
豪雨禍視察の原長官語る

台風12号による豪雨禍が過ぎ去ってから初の日曜日の九日、帯広・十勝地方では、姿があちこちで見られた。十勝川の本流や支流では流量こそ減ったよう。とりわけ然別川の水勢は止まりず、同一方だ。

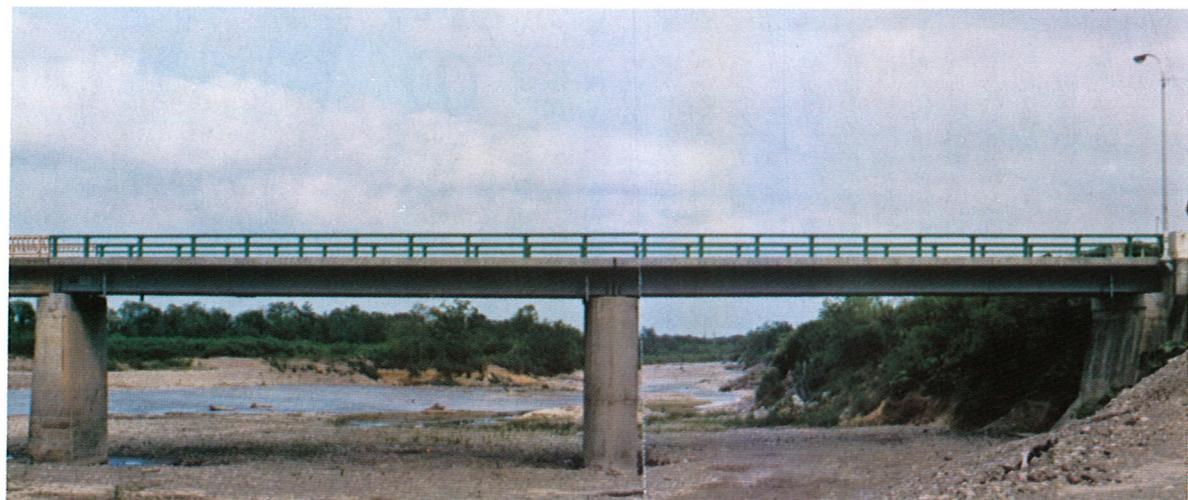
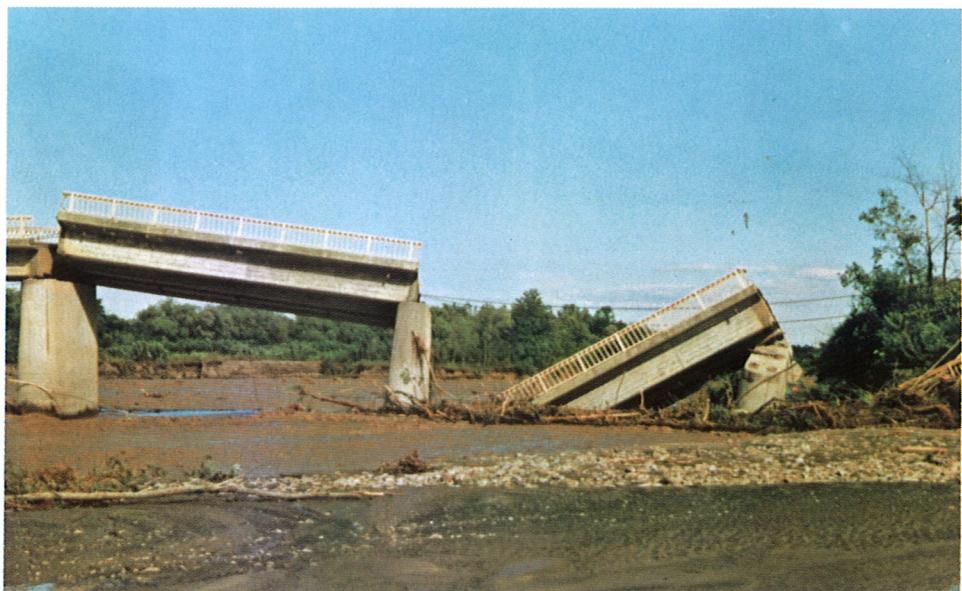
雨の中日曜返上で災害復旧作業

戦中。消防団員や地域住民などもこれまでに約九百人が昼夜兼行で護岸工事に励んできました。
然別川

バス路線の不通



落橋した紅葉橋（上と右）



復旧工事完了後の紅葉橋